

## 八王子市が児童相談所を持った場合の望ましい姿について

### 定期的な施設との会議

入所児童の個別ケースについては頻りに打ち合わせが出来ているが、施設全体や八王子市の状況についても情報交換し共有することで、難しいケースへの早期介入や予防が行ないやすくなる。

### 児童養護施設との入所調整会議

個別の施設調整ではなく、各施設の特徴や現状、地域性、保護者や児童の意向を可能な限り把握して入所先の決定につながるように。

### 児童に関する関係団体との連携

支援の繋がりや、どの機関がどのような事業をおこなっているか等、資源を分かりやすくするための福祉マップ作成や具体的な連携の調整。

### 職員の交換実習

児童相談所、一時保護所や子ども家庭支援センター及び児童養護施設等がどのように関連して連携しているかその現場に入り、業務を理解しお互いを知ることで支援の繋がりを学び、援助技術を高める。

### 地域への子育て支援講座

子育てに悩んでいる家庭や低年齢層の児童に対して、虐待予防教育を施設や民間団体と連携してより多くの市民へ地道に提供することで、地域の安定に繋がっていく。

### 自立支援プログラムの提供、サポート

施設を退所していく児童に対して、中学生年代から施設退所後に必要となる社会スキルを身につけられるようにする。退所後の継続したサポートも実施。

### 児童相談所業務の365日24時間対応

とても難しいことだと思うが、夜間や祝祭日に対応できる体制があると施設としてはとても安心できる。平日の相談が難しい市民について機会が増え、その需要や内容によっては新たなプログラムを検討できたり、平日まで時間を置くことなく早めの対応が可能になる。

### 自然環境を利用した治療プログラム

身近にある八王子の自然を生かし、問題を抱える家庭や子ども達に対する取り組み。